

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 1月21日

事業所名 ゆにば

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動スペース、学習室、多目的室が仕切りで区切られている。その他に事務スペースも含めて133平米の床面積を確保しています。	これまで通り対応していきます。
	2	職員の配置数は適切である	○		管理者1名、児童発達管理責任者1名、常勤指導員1名、非常勤指導員6名で、平日指導員最大4名体制です。利用人数に応じて適宜配置人数を変更しています。	これまで通り対応していきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	入口まではバリアフリーです。	階下から走ったり飛び跳ねたりといった騒音のクレームがあり、その対策として床をクッション材で敷き詰め防音対策を取りました。車いす対応との両立が難しく、ご迷惑をおかけすることご了承ください。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		スタッフからの意見が反映されて内容の見直しを随時進めています。	PDCAのサイクルが計画的に実施されるよう準備を進めていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者のご意見も判断材料として採用させて頂いております。	保護者のご意見も勘案し、業務見直しできるところは改善していきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページに過年度分も含めて公開しています。	周知されていないという意見を踏まえつつ、会報に公開情報を記載するようにしてまいります。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		昨年度は西宮市児童通所支援連絡会による外部評価を受けています。	これまで通り対応していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修(長期休み期間は除く)で、対応方法のほか、感染症、虐待防止等の研修を行っています。	これまで通り対応していきます。
適切な支援	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		利用開始前に聞き取り用紙に子どもの様子を記入して頂きアセスメントをし、保護者面談を経て、6か月ごとモニタリングし個別支援計画書を更新しています。	これまで通り対応していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○	1日の子どもの様子を指導員の記録から判断しています。	参考にするアセスメントシートのひな型を調査してまいります。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている		○	前年度は立案ができていました。	新型コロナウイルス対応で不規則な編成が続いたため十分にできなかったところがあり、時間を確保して実施していきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している		○	種々のプログラムから選び出すようにしています。	新型コロナウイルス対応で実施できなかったプログラムもあり、見直しを進めていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○	お子さまのご利用時間帯を考慮しながら、平日や長期休暇などサービス提供時間に合わせたスケジュールを組んでいます。	活動プログラムが固定化しないように、見直しを進めていきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者面談をもとに、個別活動・集団活動の目標を設定し計画を作成しています。	これまで通り対応していきます。

援の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		前回利用状況の記録の読み合わせしており、スタッフ間の情報共有を図っています。	これまで通り対応していきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	送迎との兼ね合いでスタッフが集まる時間を設定していません。自発管が状況に応じて指導員から状況説明を受けています。	これまで通り対応していきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		指導員に渡した記録ノートの内容を支援記録として記録を残し、原則数日内で電子化しています。必要な記録を参照しながらアセスメントに役立てています。	これまで通り対応していきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		6か月に1回保護者面談をした結果を踏まえながら、個別支援計画書の見直しを進めています。	これまで通り対応していきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		自立支援や創作活動を組み合わせながら支援を行っています。	これまで通り対応していきます。
	関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		本人中心者会議に児童発達管理責任者が出席しています。
21		学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		保護者から連絡を受けることでその都度対応しています。	これまで通り対応していきます。
22		医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	現在のところ、該当者はいません。	医療的行為ができる専門スタッフが在籍していないため、該当するお子さまについては、対応可能な放課後等デイサービスを紹介することとします。
23		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		4月に新規利用することになった1年生の子どものことについて就学前の児童デイでの様子を情報共有させて頂いたケースがあります。	今後も、適宜情報共有がなされるよう担当者と連絡を取るようになっていきます。
24		学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	令和元年度に高校卒業を迎えた子どもがおりましたが、情報提供体制がとれていませんでした。	情報が伝わるよう、事業所での様子について書面で用意するよう心がけます。
25		児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	新型コロナウイルスの影響を受け、外部研修を受けていません。	状況を勘案しながら、参加が再開するようになっていきます。
26		放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	当事業所をご利用頂いている子どものほとんどが、学校で障害のない子どもと交流する機会があることから、特には設定していません。	現時点では現状のままとしています。
27		(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○	地域包括センターでの説明する機会があったものの新型コロナウイルスの影響で中止となりました。	今後については状況を見つつ検討していきます。
28		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		保護者と日々の利用状況を説明する中で、子どもの状況について情報共有を進めています。	これまで通り対応していきます。
29		保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	特別な機会を設けていませんが、保護者支援が必要と思われる方には毎回じっくりとお話を聞かせて頂き、お子さまへの対応の仕方を助言しています。	これまで通り対応していきます。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		見学時に施設概要や支援方法、利用者負担は契約時に説明しています。	これまで通り対応していきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者からの求めに応じて助言しています。	これまで通り対応していきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	保護者会の開催には至っていません。	オンラインでのセッティングを含めて検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		保護者が気にしていることを苦情となる前に対処するように心がけている。	会報にも相談先を適宜記載するようにいたします。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		会報を発行して、活動内容や衛生面の喚起をしている。	必要に応じて、情報発信の内容や方法など改善していきます。
	35	個人情報に十分注意している	○		支援活動以外に個人情報を用いないよう注意しています。	これまで通り対応していきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		お迎え時等に、保護者へ気になることがないか伺うなど話をしやすい環境づくりに努めています。	これまで通り対応していきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	行事が明確化されていませんでした。	近隣商店街との交流を含めできることを考えていきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		各種マニュアルの策定しており職員には周知しています。	保護者に理解が進むよう情報発信を検討します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		スタッフのみ避難訓練を実施しました。	利用者も参加する防災訓練を実施するよう計画します。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		スタッフ研修で虐待防止についての研修をしました。	これまで通り対応していきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		身体拘束を必要とする子どもはならず、行動を拘束しないよう研修を実施しています。	必要に応じて適宜対応していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者からの聞き取りで食物アレルギーの情報を収集しています。キッチンに指導員が確認できるリストを掲示し、口に入れることがないように配慮しています。	これまで通り対応していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット事例はスタッフ間で共有しています。	これまで通り対応していきます。